

## 第6回関東喘息患者交流会報告

去る11日、日本教育会館に清水先生をお迎えして、「第六回関東喘息患者交流会」が開かれました。新型インフルエンザの流行もあり、特に喘息患者には重症化のおそれがあるとの報道もあって、実行委員会と清水先生と相談し、第一部「新型インフルエンザと喘息」第二部「喘息をよくし治していくための最新情報」という内容での講演会となりました。



にこやかに話される清水先生

朝日新聞でも報道されたりして、日本喘息患者会への問い合わせが多くあり、関心の高さがみられました。当日はどれくらいの参加者が来られるかわからず、20ページもの資料や受付の体制や、マスク、消毒なども十分に準備して万全の体制をして受付が行われました。参加された方々は55名でしたが、人混みでの感染をおそれてか不参加にした方もいるようでした。

会は清水先生の詳しい話、新しい情報と質疑応答を二時間、お昼ご飯も切り詰めての「清水先生の個別相談」には35人、六組に分かれての「分散交流会」と全体会での報告、終了後の懇親会と有意義な一日に参加された方は大きな収穫を持ち帰ることができました。



真剣に耳を傾ける参加者の皆さん

全く初めて参加された方などは、「主治医は自分」「してもらってあげる」を実践している先生と患者会に驚き、感銘を受けたことを話してくれましたが、まだまだ苦しんでいても正しい知識を知らずに、希望と展望がもてない人が多くいることを強調していました。交流会には喘息大学の古い卒業生も参加され、お互いの親交を深めている姿も多く見られました。

終了後、実行委員会でお世話していただいた方から、「来年の交流会」への提案なども出ていて充実した会であったと話しています。また五月の金沢での交流会と喘息ゼミナールへの参加も確認しあって解散しました。

来年も元気でお会いしましょう。

関東喘息患者会連絡会 世話人代表 小倉康次



グループ別の交流会も有意義な時間



参加者の皆さん、実行委員会の皆さん、ありがとうございました。

受付にはマスクや消毒薬を準備して、インフルエンザ対策